

令和2年度 国臨協関信支部学術委員会に対 するアンケート調査集計報告

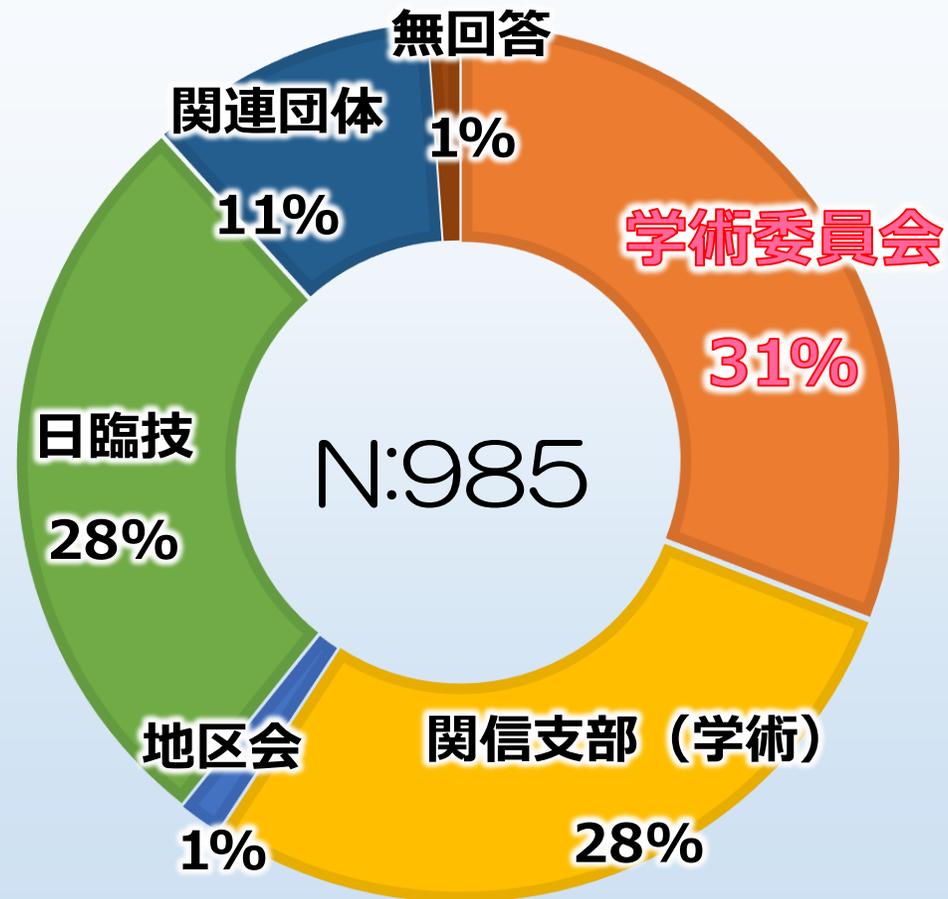
国臨協関信支部

2021年4月1日（土）

アンケート調査集計報告

- ① 目的 : 会員皆様の意見を伺い、学術委員会活動の充実化を図るため
- ② 調査期間 : 2020年11月14日（発送）～ 2020年11月27日（締切）
- ③ 調査対象者 : 令和元年度 国臨協関信支部会員 613名
- ④ 回収状況 : 回収数 589票
回収率 96%
※ 回収率（ 回収数 / 調査対象者 × 100 ）

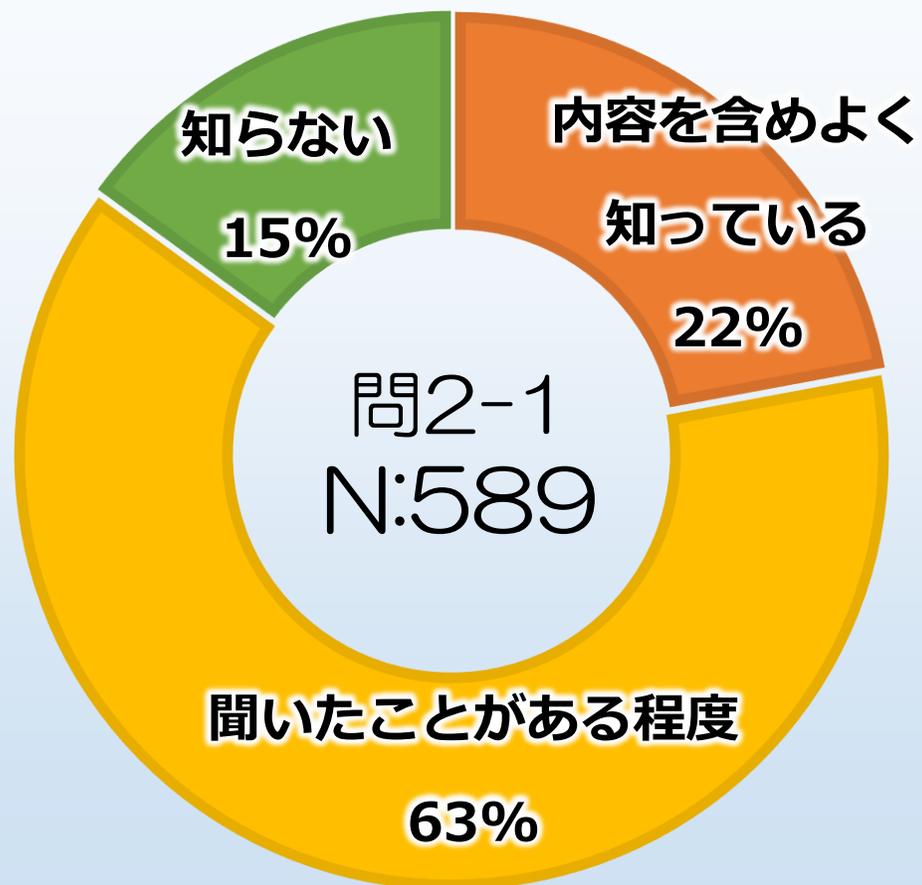
設問 1 学術的な支援を行う役割はいずれだと思いますか。(回答2つまで)



		度数	%
1	学術委員会	304	31
2	関信支部(学術)	279	28
3	地区会	15	1
4	日臨技	272	28
5	関連団体	104	11
6	無回答	11	1
	合計	985	100

設問2 学術委員会の活動についてどの程度知っていますか（回答は1つ）

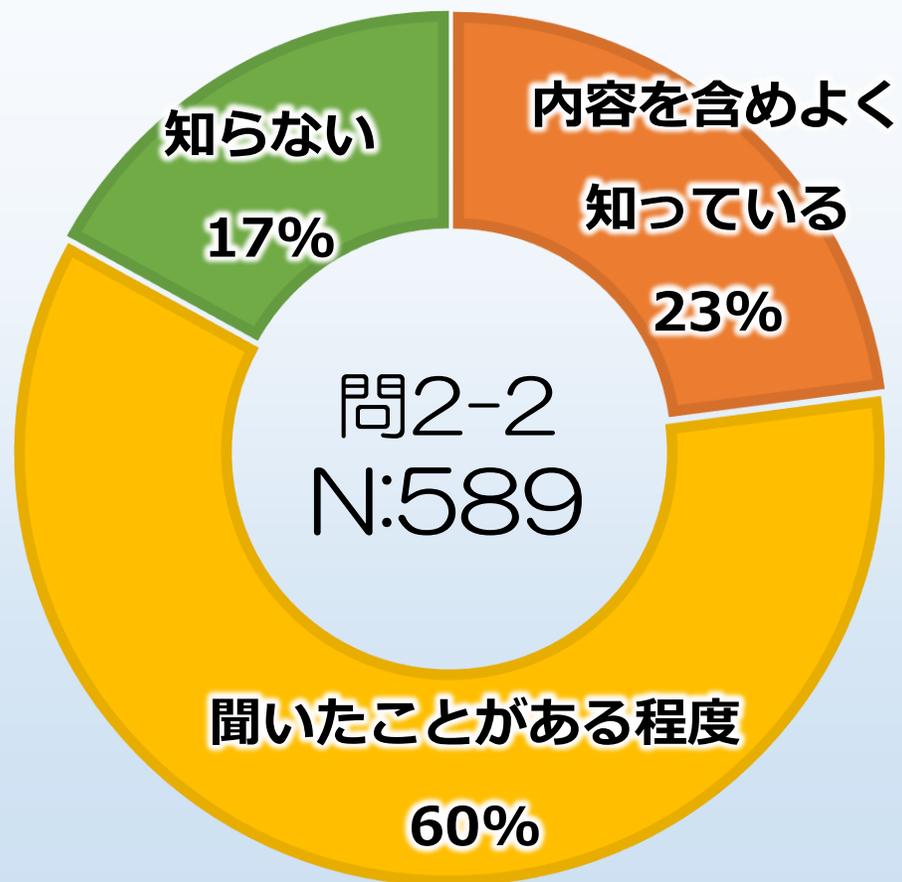
1.国臨協関信支部学会の学会賞選考・学会企画の立案



	度数	%
1 内容を含めよく知っている	130	22
2 聞いたことがある程度	371	63
3 知らない	88	15
合計	589	100

設問2 学術委員会の活動についてどの程度知っていますか（回答は1つ）

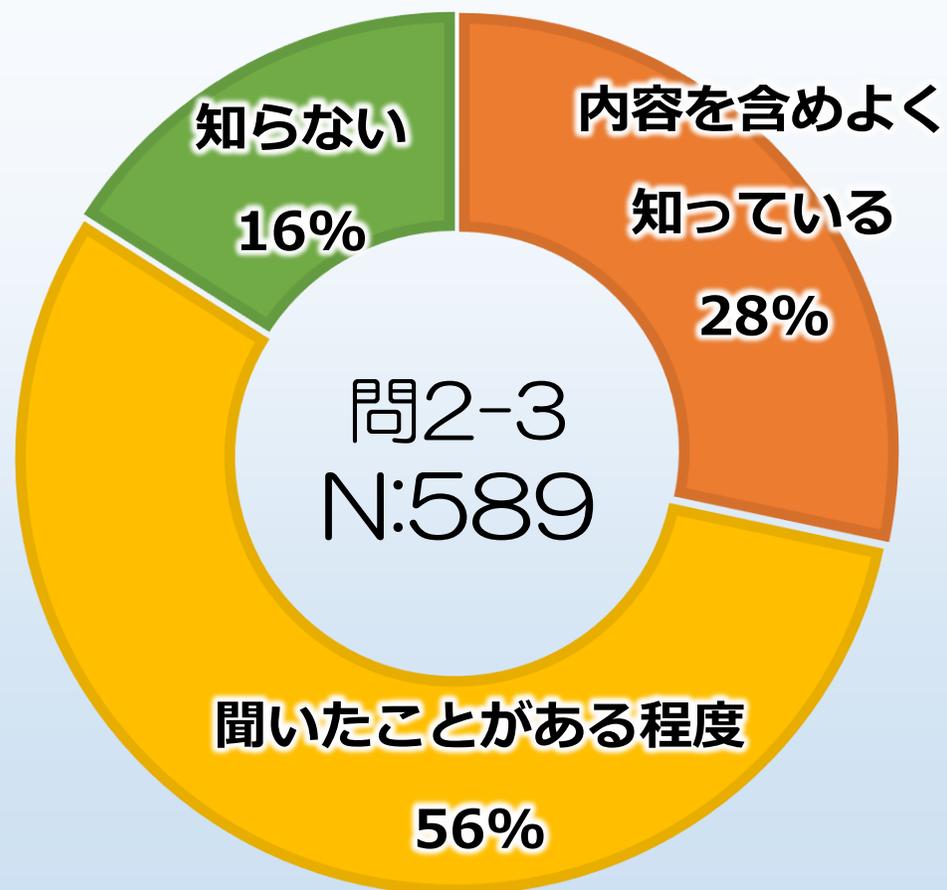
2.国臨協関信支部主催研修会の企画立案



	度数	%
1 内容を含めよく知っている	135	23
2 聞いたことがある程度	354	60
3 知らない	100	17
合計	589	100

設問2 学術委員会の活動についてどの程度知っていますか（回答は1つ）

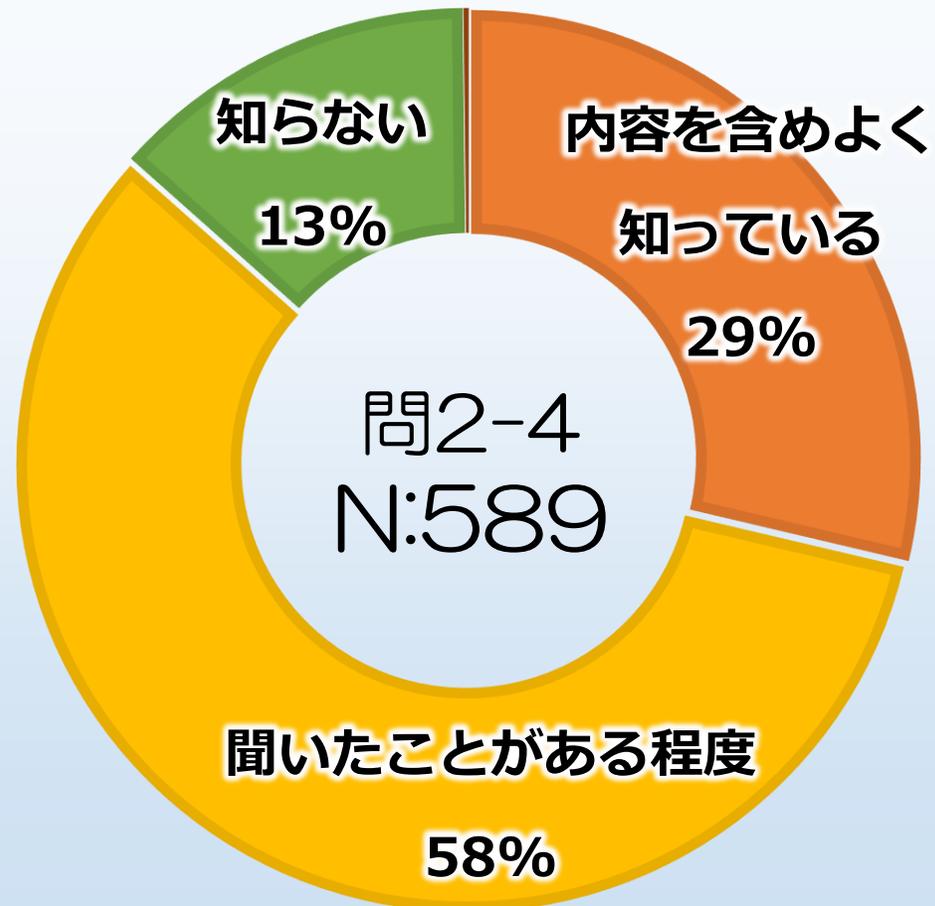
3.検査時の問題点・疑問点に対しての相談や援助（ルーチンアドバイス） 及びQ&A集等の発行



	度数	%
1 内容を含めよく知っている	167	28
2 聞いたことがある程度	328	56
3 知らない	94	16
合計	589	100

設問2 学術委員会の活動についてどの程度知っていますか（回答は1つ）

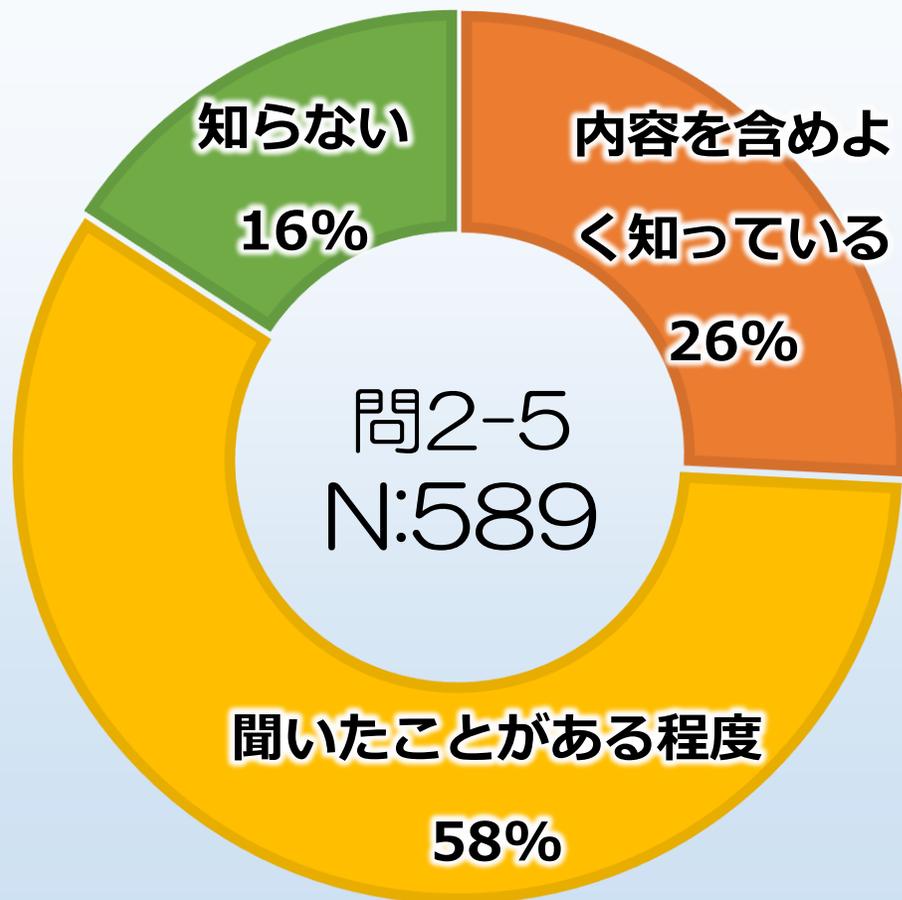
4.支部ニュース等への学術的援助



	度数	%
1 内容を含めよく知っている	169	29
2 聞いたことがある程度	341	58
3 知らない	78	13
4 無回答	1	0
合計	589	100

設問2 学術委員会の活動についてどの程度知っていますか（回答は1つ）

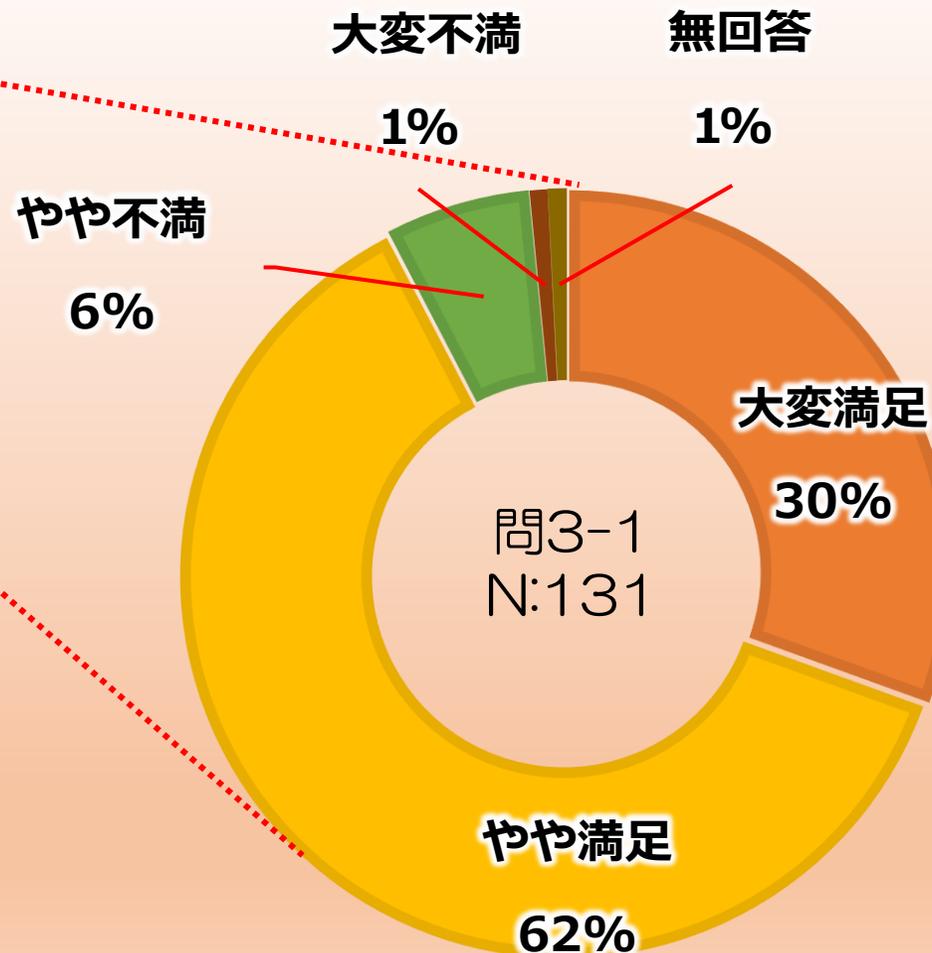
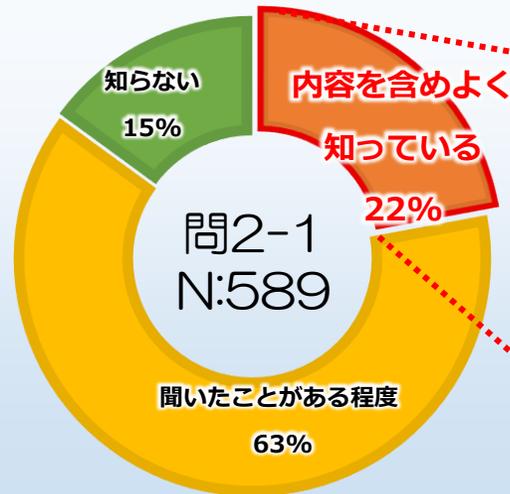
5.地区会研修会への学術的援助



	度数	%
1 内容を含めよく知っている	152	26
2 聞いたことがある程度	344	58
3 知らない	93	16
合計	589	100

設問3 活動内容をよく知っているのと回答した項目の満足度（回答は1つ）

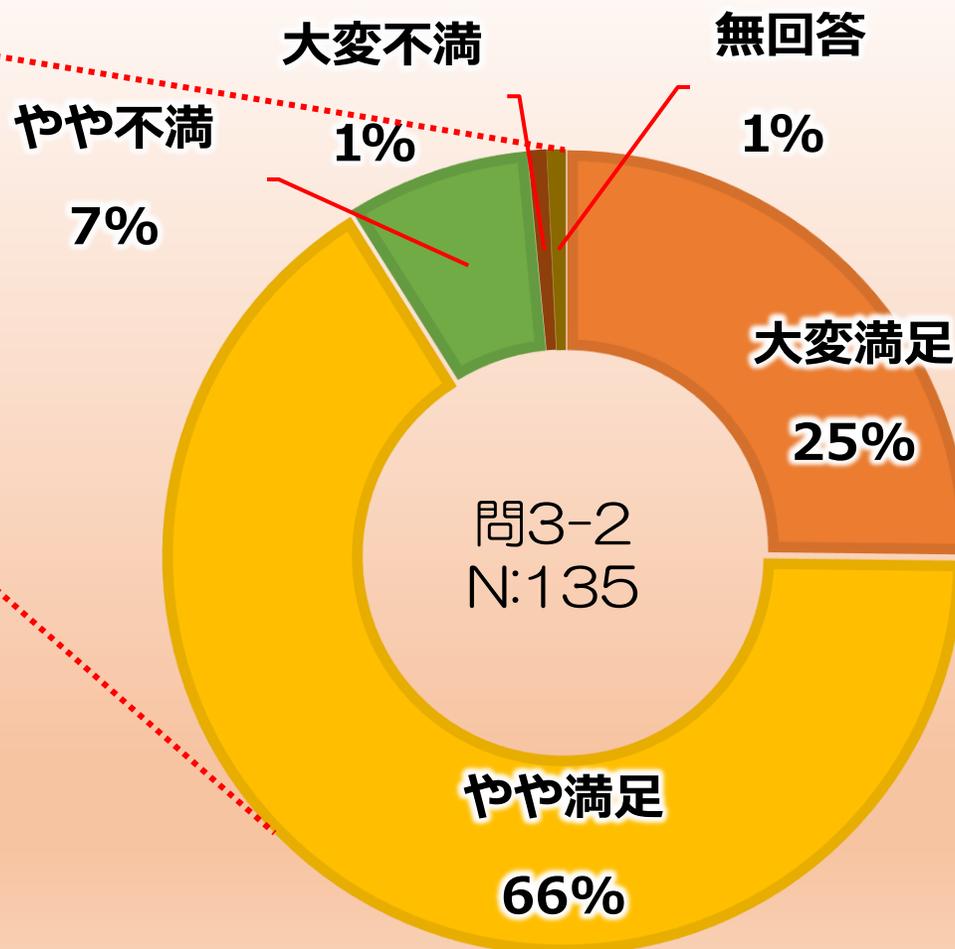
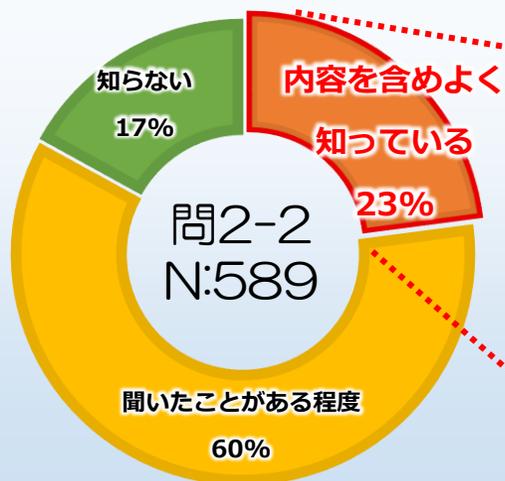
1. 国臨協関信支部学会の学会賞選考・学会企画の立案



	度数	%
1 大変満足	40	30
2 やや満足	81	62
3 やや不満	8	6
4 大変不満	1	1
5 無回答	1	1
合計	131	100

設問3 活動内容をよく知っているのと回答した項目の満足度（回答は1つ）

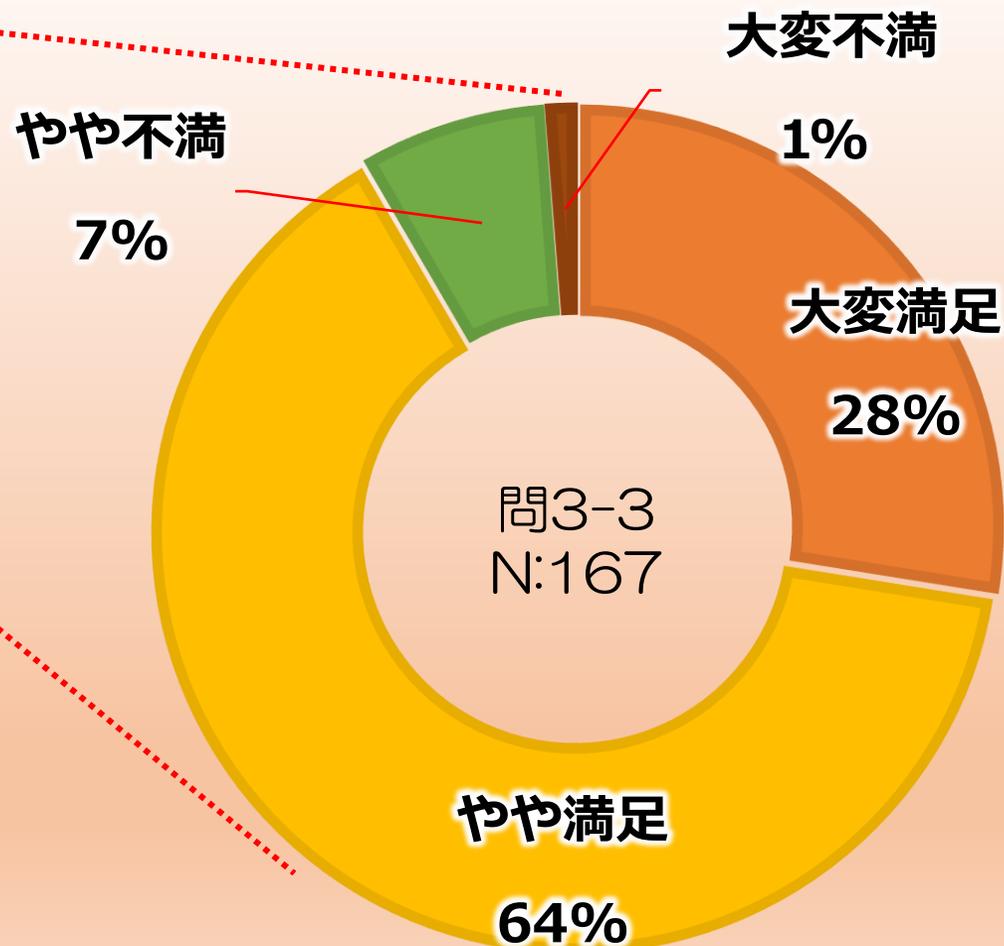
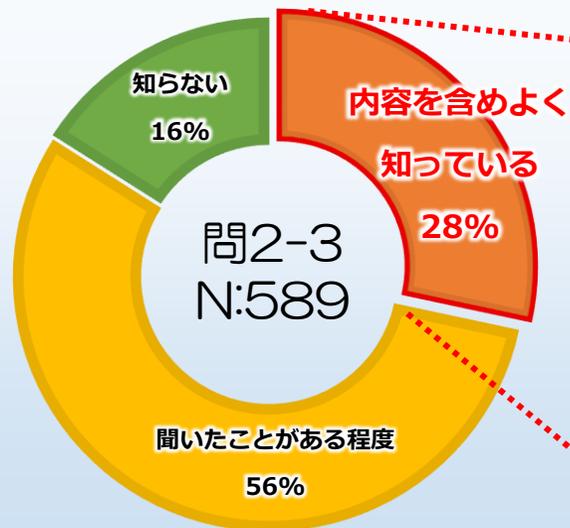
2.国臨協関信支部主催研修会の企画立案



	度数	%
1 大変満足	34	25
2 やや満足	89	66
3 やや不満	10	7
4 大変不満	1	1
5 無回答	1	1
合計	135	100

設問3 活動内容をよく知っているという回答した項目の満足度（回答は1つ）

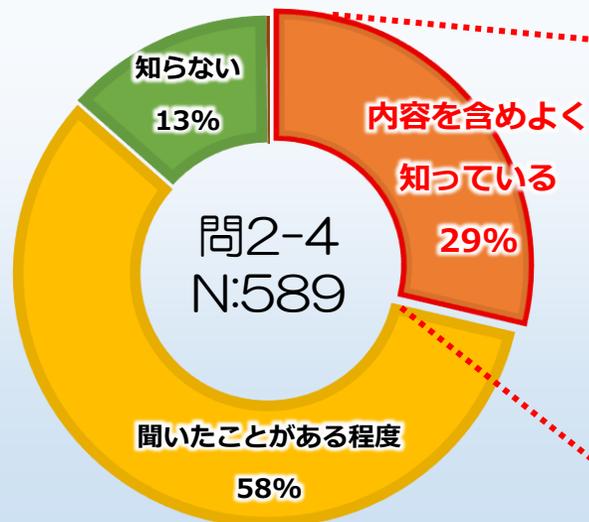
3.検査時の問題点・疑問点に対しての相談や援助（ルーチンアドバイス） 及びQ&A集等の発行



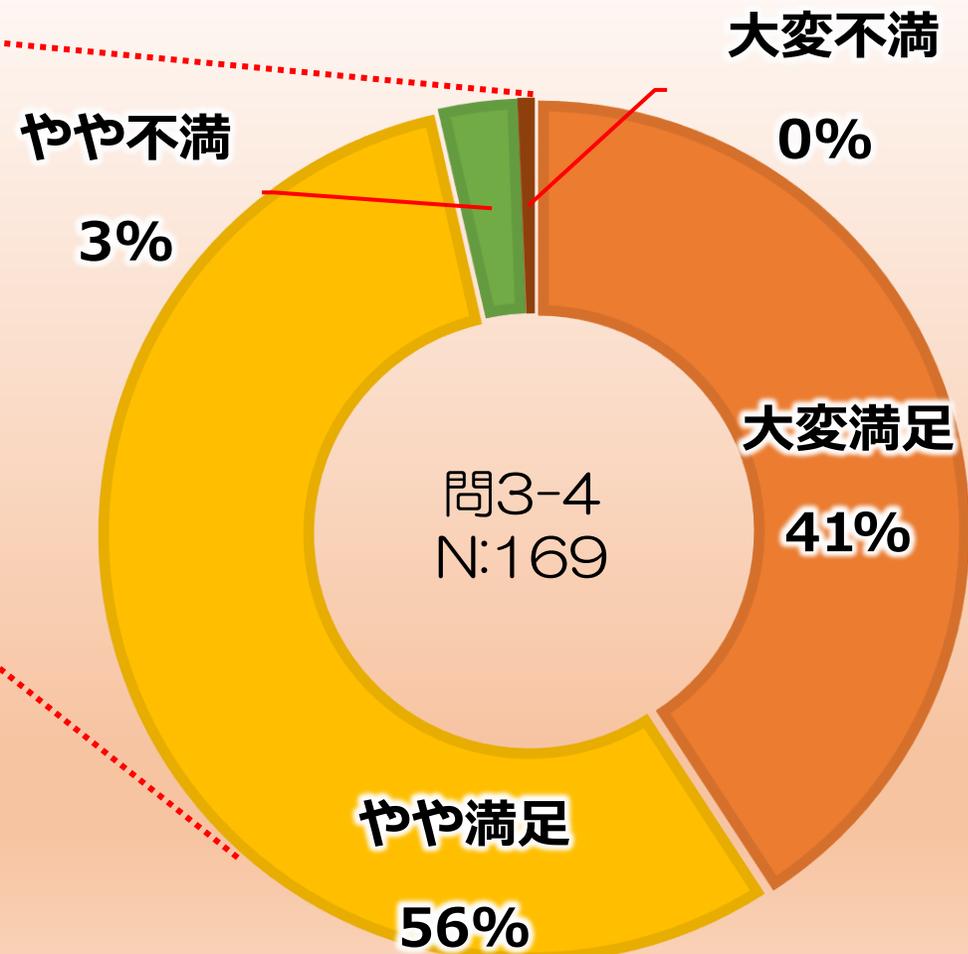
	度数	%
1 大変満足	46	28
2 やや満足	107	64
3 やや不満	12	7
4 大変不満	2	1
合計	167	100

設問3 活動内容をよく知っているという回答した項目の満足度（回答は1つ）

4.支部ニュース等への学術的援助

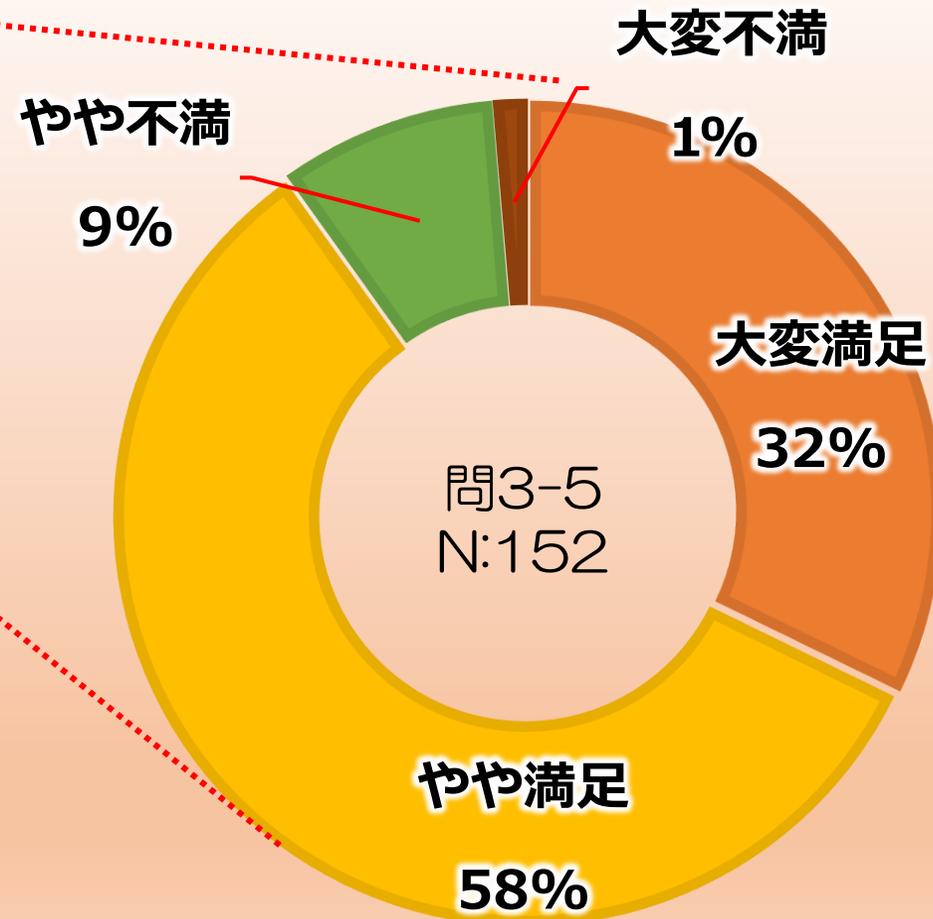
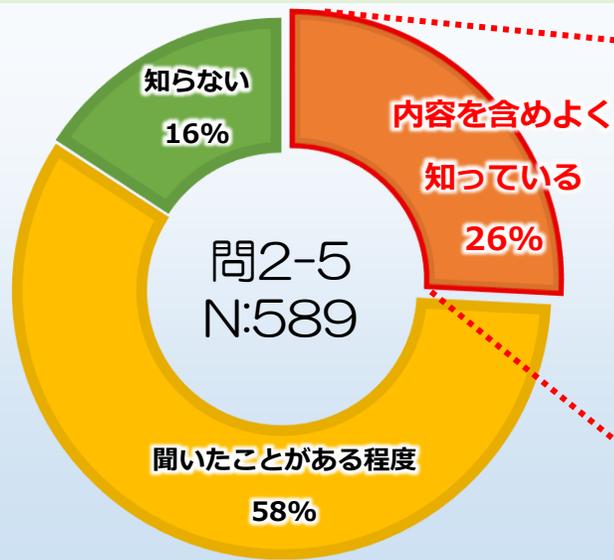


	度数	%
1 大変満足	69	41
2 やや満足	94	56
3 やや不満	5	3
4 大変不満	1	0
合計	169	100



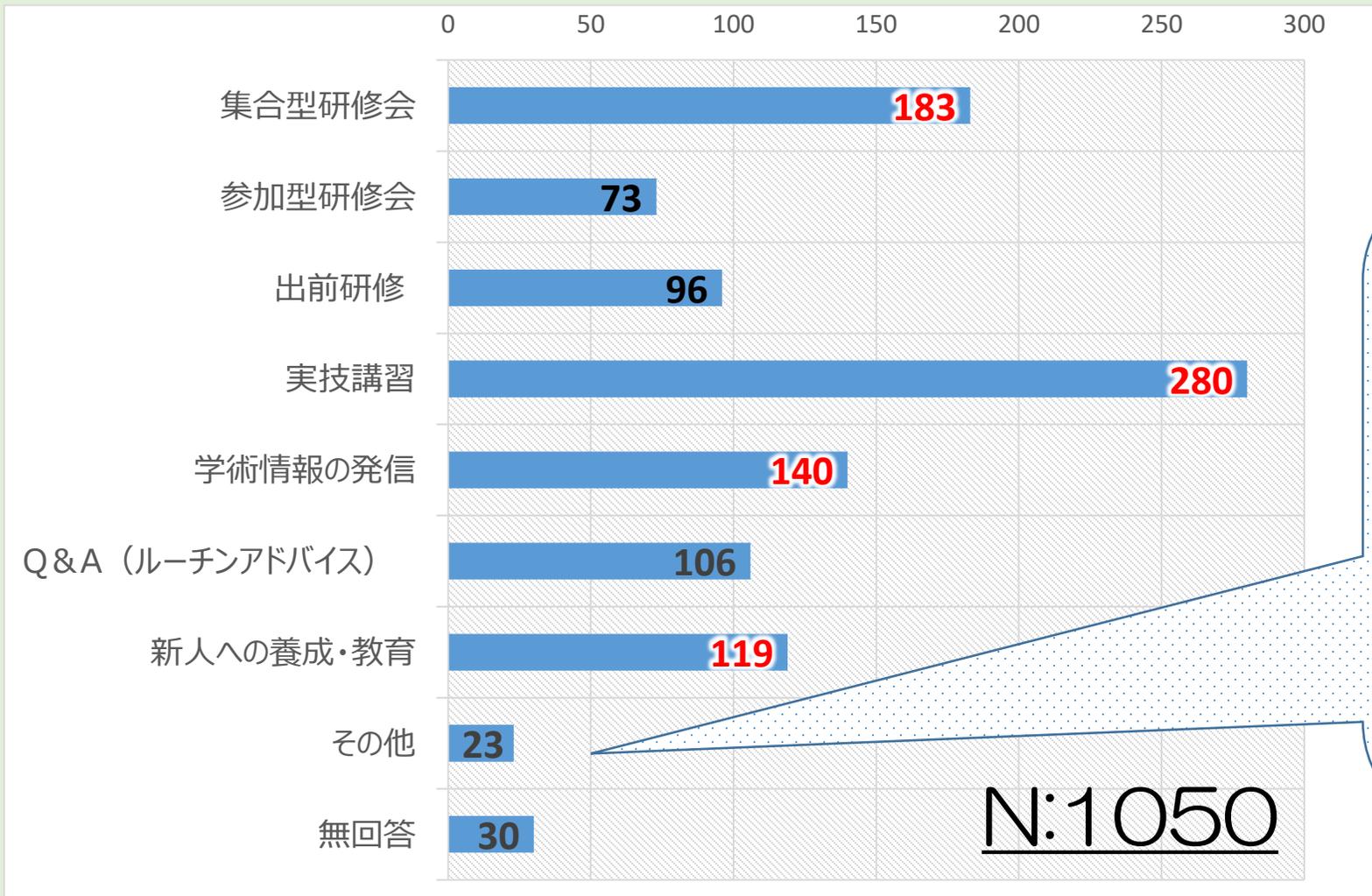
設問3 活動内容をよく知っているのと回答した項目の満足度（回答は1つ）

5.地区会研修会への学術的援助



	度数	%
1 大変満足	49	32
2 やや満足	88	58
3 やや不満	13	9
4 大変不満	2	1
合計	152	100

設問4 学術委員会に望むことを教えてください。（回答は2つまで）

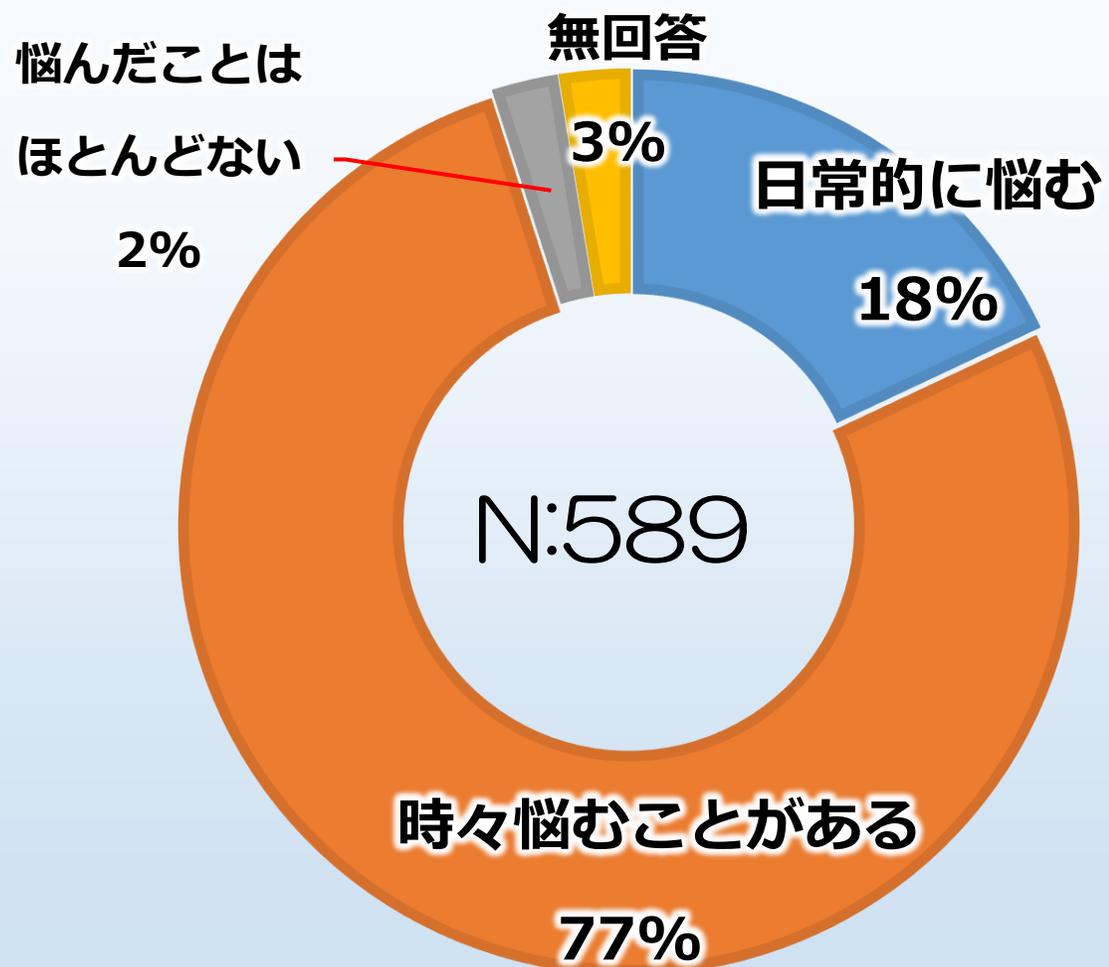


その他

- ◆ Web・オンライン研修会（非集合型）
- ◆ 中堅職員資格取得のための実技研修
- ◆ 各施設出張型の実技研修
- ◆ 認定資格取得のための教育
- ◆ 特になし

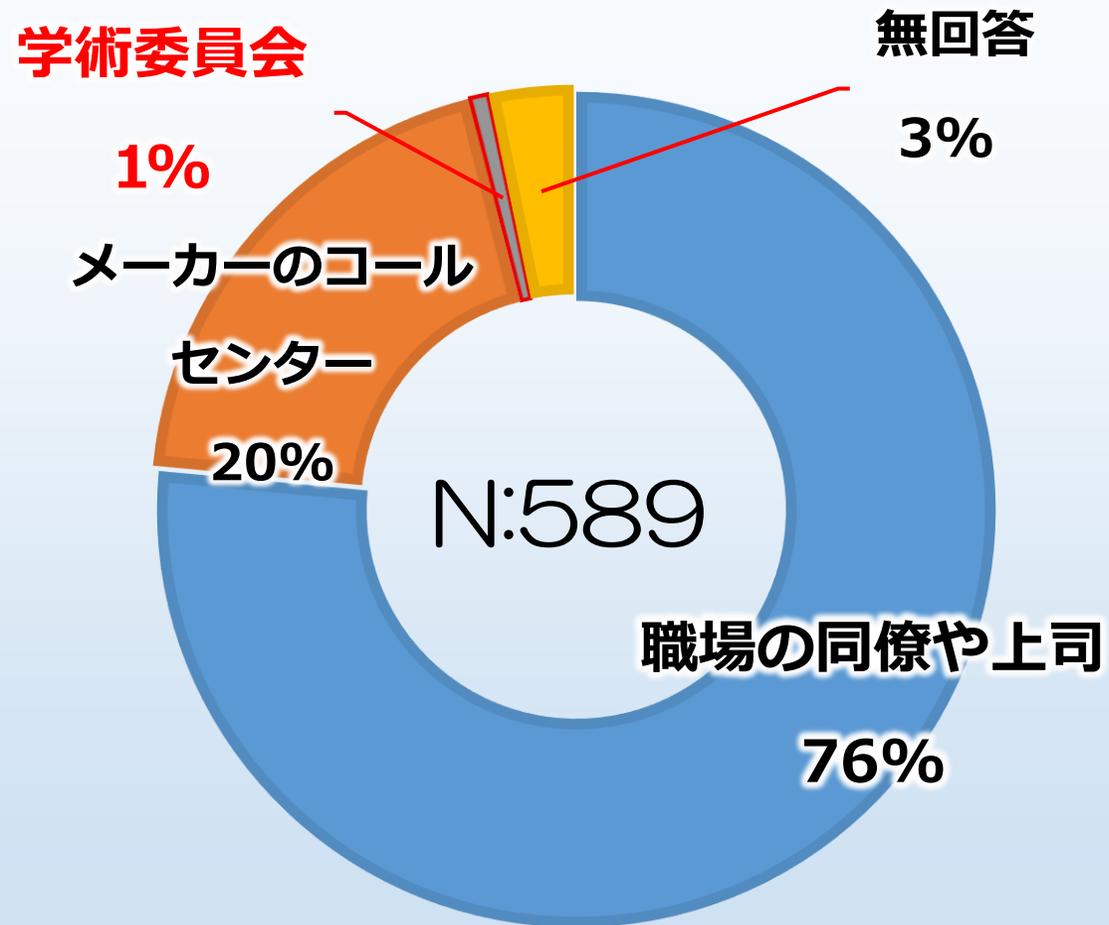
など

設問5 日常業務で困ったり悩んだりしたことはありますか（回答は1つ）



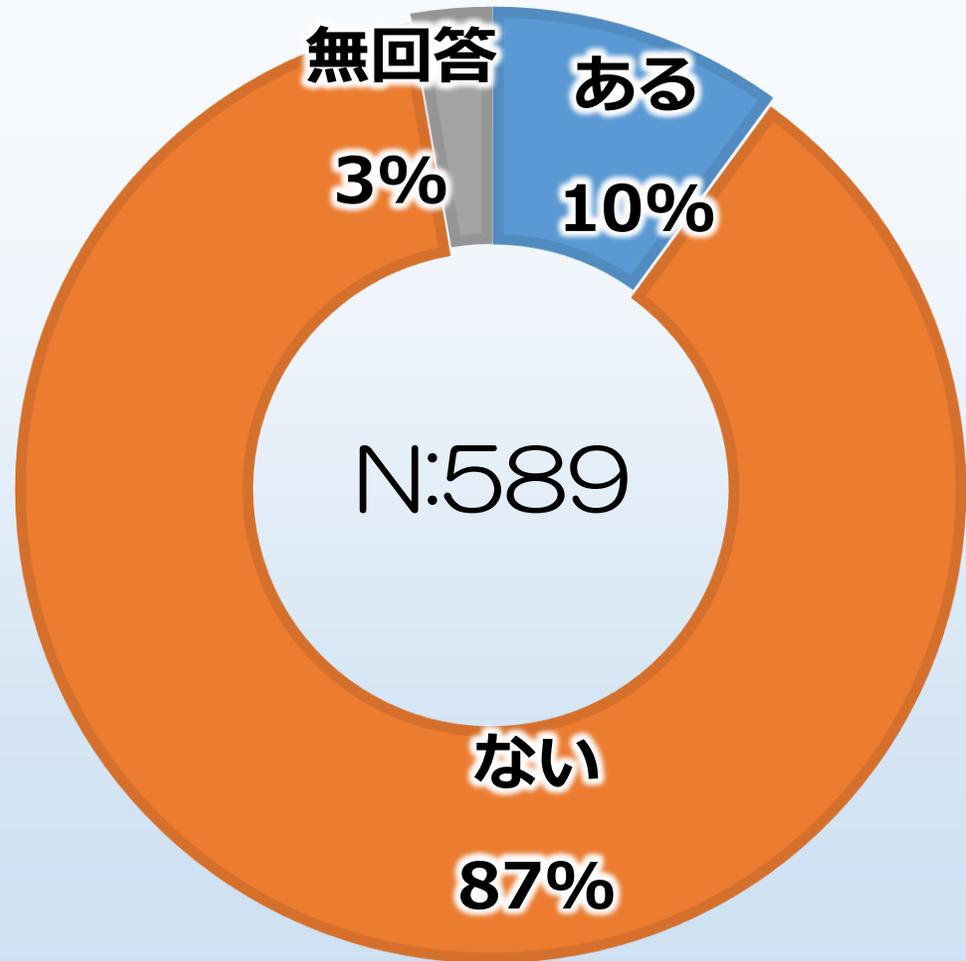
	度数	%
1 日常的に悩む	106	18
2 時々悩むことがある	454	77
3 悩んだことはほとんどない	14	2
4 無回答	15	3
合計	621	100

設問6 相談する相手は誰ですか。（回答は1つ）



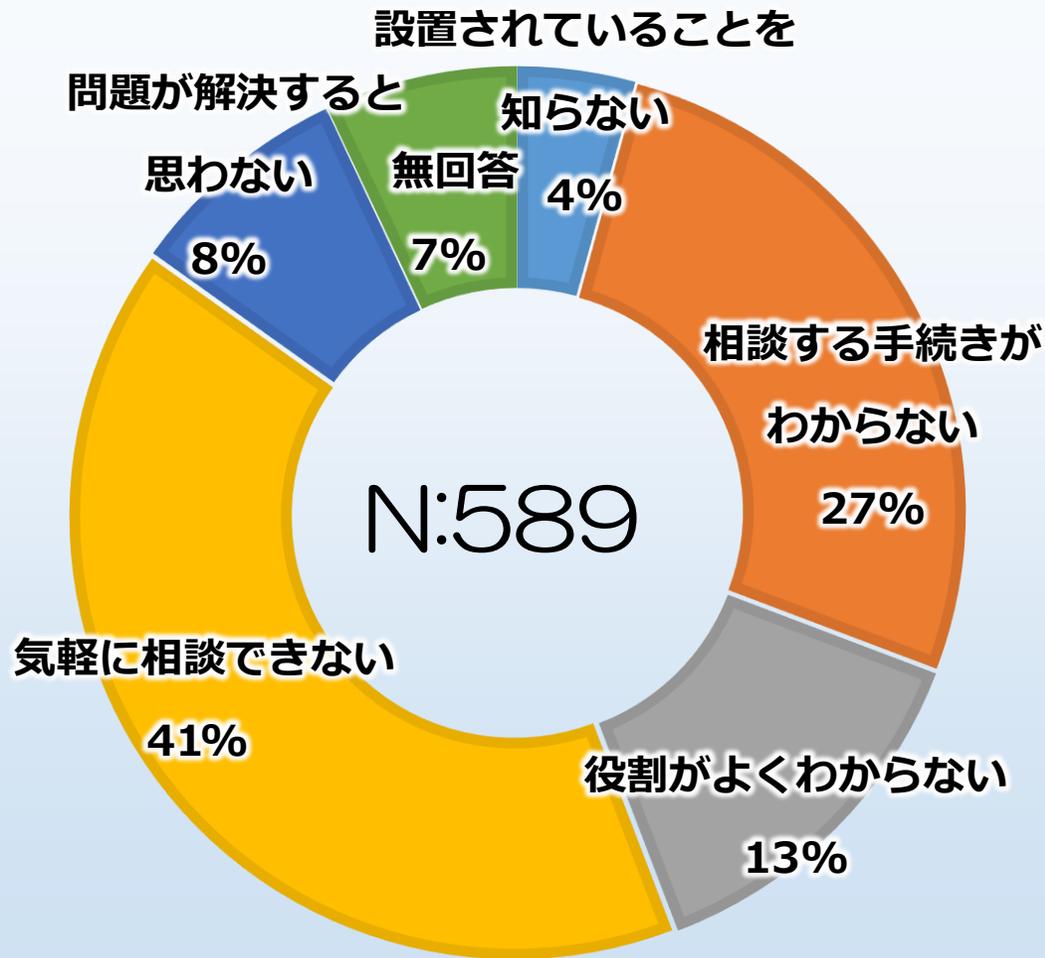
	度数	%
1 職場の同僚や上司	449	76
2 メーカーのコールセンター	115	20
3 学術委員会	4	1
4 無回答	19	3
合計	589	100

設問7 学術委員会に相談したことはありますか。(回答は1つ)



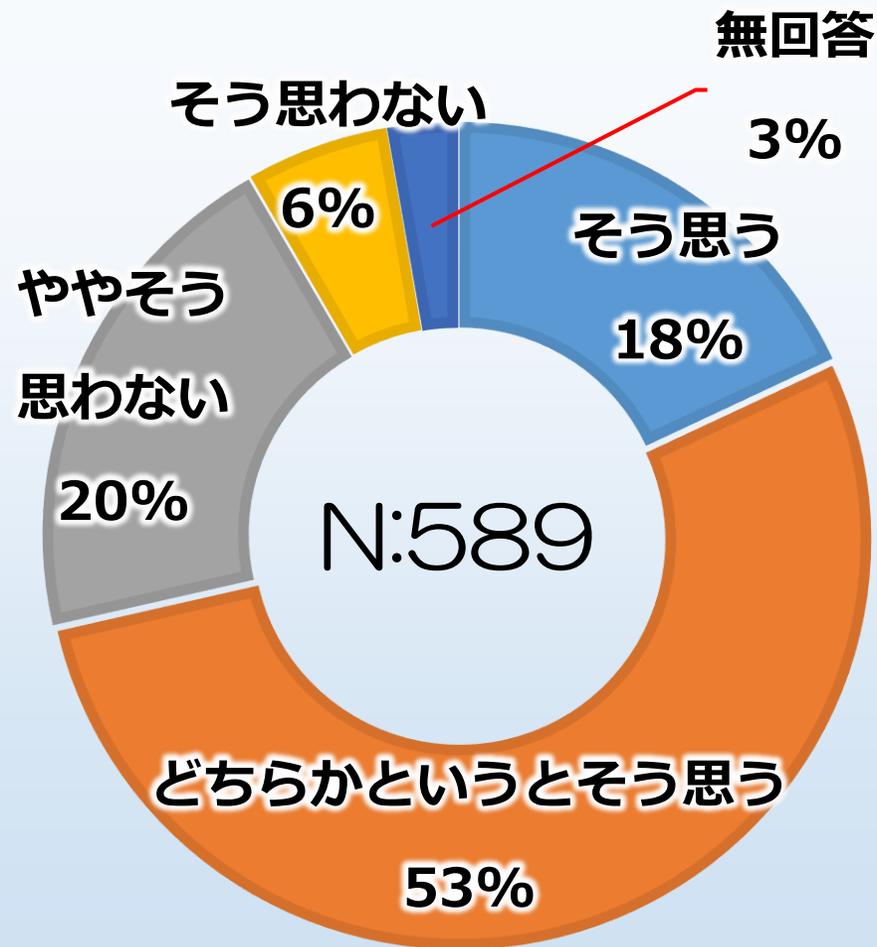
	度数	%
1 ある	59	10
2 ない	514	87
4 無回答	16	3
合計	589	100

設問8 学術委員会に相談しない最も大きな理由はなんですか。（回答は1つ）



	度数	%
1 設置させていることを知らない	25	4
2 相談する手続きがわからない	156	27
3 役割がよくわからない	79	13
4 気軽に相談できない	239	41
5 問題が解決すると思わない	48	8
6 無回答	41	7
合計	589	100

設問9 学術委員会を必要だと思えますか。（回答は1つ）



	度数	%
1 そう思う	106	18
2 どちらかといとそう思う	314	53
3 どちらかというと思わない	119	20
4 そう思わない	33	6
5 無回答	16	3
合計	589	100

※ ご意見・ご要望などがございましたらご自由にお書きください (1)

- 1 Web研修が望まれる
- 2 認定資格のを無くしてほしい。資格は他にもたくさんある
- 3 ルーチンで苦慮した事例をWebで情報共有してほしい
- 4 委員に相談し解決できた経験があるので、有用な制度であると思う。しかし委員の方の負担を考えるとメーカーを第一選択にしてしまう。
- 5 お電話しても良いか、メールを差し上げて良いのか悩むことがある。
- 6 認定資格などをとるのに地方の人でも参加しやすくweb配信やeラーニングを設置すれば合格率も上がると思います
(地方では勉強会が少ないので難しいです)
- 7 研修会をweb配信しいつでもだれでも視聴できるようにしてほしい。開催地まで行くのが大変。土日などの休日開催では身体を休める暇もない。
交通費も職場からの補助もなく金銭的に厳しい
- 8 委員会委員が多すぎ、実際に行動している方はごく少数である。具体的な委員会目標が判らない。
今までの事業を検証し今後の在り方を検討すべきである。
- 9 ルーチンアドバイス、相談の役割が良い
- 10 リアルタイムで知りたいことに関しては、学術委員会には出番ないと思う。ただし教育方法や業務改善等はメール等で相談させていたいただきたい。だめですか？

※ ご意見・ご要望などがございましたらご自由にお書きください (2)

- 11 毎回研修会や講習会等テーマを決めるのは大変だと思います。ですが、同じような内容が多いような気がします。より多くの会員に興味を持たれるようなテーマは難しいと思いますが、あまりニーズの内容なテーマ(例えば検査に直接関係ないとしても)参加したいと思えるものがあります。
- 12 歴代の支部担当理事皆様の活動についてはただただ敬服と感謝するのみです。コロナ禍の影響は今後続くと思われ、従来と同じ感覚のままでいいか
本アンケートをきっかけに考えさせられました。国臨協本部、各支部等の団体活動が多くありますが、見直す時期かもしれません。その見直しの時に現職の技師長、副技師長が入るべきではないと思います。主任以下が主体となり、忖度なしに考える時期かもしれません。
- 13 超音波検査士に受験に対して、学術的な相談や援助をしていただきたいです。
- 14 HPを見たが学術委員会のページがすぐに見つけられなかった。タブでリンクできるようにしたらどうか？
- 15 実際にルーチンアドバイスなどがあったのか不明瞭。もしあったのなら実績や内容を開示してほしい。
- 16 Q&Aは大変助かるのですが、手続きに時間がかかるため利用しにくいのが現状となっています。学術委員会については委員の方たちの負担等を考えると、今の形で続けていくことに疑問を感じます。人数を増やすなど何か検討した方が良いのではと感じます。
- 17 集合型の研修会が困難と思われる。Web形式の研修会を積極的にご検討いただきたい
- 18 Web研修会をおこなってほしい。
- 19 支部の会報や名簿など紙媒体であるのが苦痛。電子媒体および各病院1冊などをご検討下さい。
- 20 コロナ禍なので研修会ではなくQ&Aに力を入れてほしい。

※ ご意見・ご要望などがございましたらご自由にお書きください(3)

- 21 HP公開されているQ&Aの質問者は匿名にしてはいかがか。
- 22 新たな学術委員会の在り方を模索してもいい時期。会員が求めるものは何か。無理して継続する必要はない。
- 23 学会との住み分けは必要と思う。難しいテーマよりも日当直・夜勤の不安解消ができるといい。
- 24 アンケートの間2が回答しにくい。どこまでをよく知っているとするればよいか。
- 25 少人数施設ではルーチン・技術的な疑問点を解決できないことがある。気軽に問い合わせできる体制の構築を望む。
- 26 学術知識を取得する上では関連団体・各技師会やメーカーのほうが情報量が多い。支部・学術委員会の努力は認めるが違った形でもよいのではないか。
- 27 日々の困りごとは技師会を含めた仲間で解決される。研修会や広報など、現在の活動を充実させてください。
- 28 部内間で活動の活発度に差が出ないようにコントロールしてください。
- 29 今欲しい情報でないと身にならない。研修会等での情報は忘れてしまうことが多いです。
- 30 学術委員会の活躍を期待致します。
- 31 相談できる技師が少ない施設にとって大事な委員と思う。関信支部全体のレベルアップのため、集合型・Web研修会などを企画していただきたい。
- 32 岩崎支部長、他皆様、今後も期待しまくりです。学術委員会のさらなる活躍を祈念申し上げますm(__)m
- 33 関信支部が学術委員に丸投げしている。このアンケートが全て。
- 34 相談に値するレベルの悩みかの判断に迷った経験がある。気軽に相談できるコミュニティー形成の担い手が重要。

沢山の
ご意見
ご要望
誠に
ありがとう
ございました。

まとめ ①

学術的な支援を行う役割

- ◆ 学術的な支援を行う組織形態として、学術委員会が31%と最も高く、次いで関信支部（学術）が28%を占め、関信支部の学術関連で全体の約60%を示した。 会員が求める学術的な支援を行う組織として認知されていることが分かった。
- ◆ 外部組織（日臨技・関連団体など）との回答が約40%を占めており、別個の組織ながら、会員が学術的な支援を受けるため組織として重要であると考えていることが再確認できた。

学術委員会の活動内容・満足度

- ◆ 活動内容（事業内容）については、「聞いたことがある程度」約60%で、「よく知っている」26%を大きく上回った。
- ◆ 「よく知っている」26%の満足度については、「大変満足」30%、「やや満足」62% 活動内容については、92%が概ね「満足」という結果を示した。

まとめ ②

学術委員会に望むこと

- ◆ 「研修会（集合型・参加型・出前型）」34%と最も多く、次いで、「実技講習」27%、「学術情報の発信」13%、「新人への養成・養育」11%、「Q&A：ルーチンアドバイス」10%の結果を示した。
- ◆ その他の意見として、Web・オンライン研修会などの要望も見受けられた。

日常業務で困ったり悩んだときの相談について

- ◆ 多くの会員が日常業務において「日常的に悩む」18%、「時々悩むことがある」77%との回答を示し、相談の相手としては「職場の同僚や上司」が76%、「メーカーのコールセンター」が20%で、「学術委員会」は1%と低い結果を示した。
- ◆ 上記の結果から、日常業務に関する相談は、いつでも必要な時に、気兼ねなくにそれぞれの案件に適した相談相手を選んで行っていることが分かった。
- ◆ リアルタイムに相談する相手としては、学術委員が適していないことが分かった。

まとめ ③

学術委員会への相談

- ◆ 「学術委員会に相談したことがある」10%で、「ない」が87%を示した。
- ◆ 学術委員会に相談しない理由としては、「気軽に相談できない」41%と最も多く、「相談する手続きがわからない」27%、「役割がよくわからない」13%、「問題が解決すると思わない」8%「設置されていることを知らない」4%の結果を示した。

学術委員会の必要性について

- ◆ 学術委員会の必要性について「そう思う」18%、「どちらかというと思う」53%であり、会員の約70%が学術委員会の必要性を認めていることが分かった。
- ◆ その反面、「どちらかというと思わない」20%、「そう思わない」6%で、合わせて26%が“必要性が無い”という結果を示した。

今後の学術委員会活動に役立
てまいります。

ご協力ありがとうございました。